

平成28年度 第26回 加古川市中学生海外派遣団 報告書



公益財団法人 加古川市国際交流協会

Kakogawa International Association

目 次

ごあいさつ

公益財団法人 加古川市国際交流協会

理事長 樽本 庄一	1
-----------	---

中学生海外派遣

オークランド市の紹介	2
団員プロフィール	3
派遣団日程表	4
事前研修・結団式	5
8日間の記録	6
帰国報告会・事後研修	14
団員レポート	15
思い出のページ	38

これからの活躍を期待して

近年、グローバル化やＩＴ化に伴い、急速に世界が身近なものとなっています。加古川市においても、２，５００人の外国人が生活されており、地域社会で様々な国籍の方と接する機会が増えてきました。

一方で在住外国人の中には、言葉や文化、生活習慣の違いから、日本での生活に困惑し、助けを必要とされている方も増加しています。

このような状況において、在住外国人の方に手を差し伸べるなど、市民レベルでの草の根的な国際交流の必要性がますます高まっています。

当協会では、「地域に根ざした国際交流」を推進するため、外国人からの相談に対応するとともに、外国人に対する日本語講座や、英会話をはじめとした語学講座など様々な事業を実施しています。

また、次代を担う若者を姉妹都市に派遣し、そこでの交流を通じて外国人への理解を深めて国際的視野を持ち、国際親善に貢献できる行動力のある国際人を育成することを目的として、中学生海外派遣事業及び青年海外派遣事業等を行っています。

中学生海外派遣事業は、２６回目となる今回もニュージーランド・オークランド市に１０名の中学生を派遣し、友好親善を深めてまいりました。今回の派遣により、派遣生が国際理解を深め、草の根的な国際交流の中心的役割を担う人材になっていくことを確信しています。

結びになりますが、この中学生海外派遣にあたってご理解、ご協力を賜りました保護者の皆さまをはじめ、関係機関の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成２８年１０月

公益財団法人 加古川市国際交流協会

理事長 樽 本 庄 一

オークランド市の紹介

オークランド市は北島の北部に位置し、一大ビジネス地区を有するニュージーランド最大の都市です。民族はマオリ族をはじめ多岐にわたり、多様性に富んだ文化が育まれています。マヌカウ湾とワイテマタ湾の間に位置するオークランド市では、点在する島々、海岸、森林保護地など自然が豊かに息づいており、誰もが気軽にレジャーを楽しむことのできる環境が整っています。また、気候は穏やかで、生活の質、水準ともに世界最高レベルを誇っています。

加古川市は、1992年にワイタケレ市と姉妹都市提携しました。その後、ワイタケレ市は2010年にオークランド市をはじめとする周辺の市町と合併し、現在のオークランド市となりました。これにより、加古川市とワイタケレ市の姉妹都市交流は、オークランド市との交流に引き継がれることとなりました。

オークランド市と加古川市 ～交流のあゆみ～

1991年（平成3年）	8月	第1回加古川市中学生海外派遣団がワイタケレ市を訪問
1992年（平成4年）	3月27日	財団法人加古川市国際交流協会（現・公益財団法人）設立
	5月	第1回ワイタケレ市学生海外派遣団が加古川市を訪問
	5月4日	加古川市・ワイタケレ市の姉妹都市提携に調印
1996年（平成8年）	6月	姉妹都市提携5周年記念として、ワイタケレ市からトーテムポールの寄贈を受ける
1998年（平成10年）	2月	ワイタケレ市に日本庭園を寄贈
2000年（平成12年）	6月	ワイタケレ市親善訪問団が市制50周年記念式典出席のため加古川市を訪問
	6月11日	加古川市国際交流センター開館
2001年（平成13年）	8月	ワイタケレ市に救急車を寄贈
2009年（平成21年）	11月	ワイタケレ市制20周年記念として、ワイタケレ市に「平和の鐘」を寄贈
2010年（平成22年）	6月	加古川市制60周年記念式典出席のためワイタケレ市訪問団が加古川市を訪問
	11月1日	ワイタケレ市が近隣市町と合併し、オークランド市となる
2012年（平成24年）	5月14日	加古川市・オークランド市の姉妹都市提携に調印
2016年（平成28年）	8月	第26回加古川市中学生海外派遣団一行13名がオークランド市を訪問



加古川市が寄贈した「平和の鐘」



オークランド市との姉妹都市提携の調印式

団員プロフィール（50音順）



岡本 結羽
志方中学校3年
YU OKAMOTO



香田 凜
志方中学校3年
RIN KODA



橘 彩菜
中部中学校3年
AYANA TACHIBANA



田中 萌子
浜の宮中学校3年
MOEKO TANAKA



戸塚 紗英
山手中学校3年
SAE TOTSUKA



西川 友加奈
陵南中学校3年
YUKANA NISHIKAWA



藤野 麗
神吉中学校3年
REI FUJINO



御船 渚紗
神吉中学校3年
NAGISA MIFUNE



宮内 玲
両荘中学校3年
REI MIYAUCHI



諸富 理乃
両荘中学校3年
RINO MOROTOMI

引率

佐藤 祐介
浜の宮中学校教諭
YUSUKE SATO

森元 崇文
加古川市国際交流協会
TAKAFUMI MORIMOTO

梅谷 真紀
加古川市国際交流協会
MAKI UMETANI

加古川市中学生海外派遣団日程表

月日	場所	交通機関	行 程	宿泊先
8 月 15 日 (月)	加古川発 伊丹空港 成田空港	市バス NH2178 NZ090	加古川市国際交流センター出発 成田国際空港へ向け出発 オークランド国際空港へ向け出発	機中泊
8 月 16 日 (火)	オークランド	専用車	オークランド国際空港到着 オークランド市内見学 オークランド博物館見学（マオリショー見学） スカイタワーで昼食 ホストファミリーと対面、ホームステイ先へ	ホームステイ
8 月 17 日 (水)	オークランド		ラザフォードカレッジ学校訪問 授業体験	ホームステイ
8 月 18 日 (木)	オークランド		オークランド市内見学 ワイタケレ森林公園散策 ワイタケレ日本庭園見学 オークランド動物園見学	ホームステイ
8 月 19 日 (金)	オークランド	▼	オークランドタウンホール訪問 スカイタワー見学、マウントビクトリア散策 フェリー乗船、ダウンタウンショッピング	ホームステイ
8 月 20 日 (土)	オークランド		ホストデー 終日ホストファミリーと行動	ホームステイ
8 月 21 日 (日)	オークランド	専用車	ホストデー ホストファミリーとお別れ ホテルへ向け出発	ホテル
8 月 22 日 (月)	オークランド 成田空港 伊丹空港 加古川着	NZ099 NH2179 市バス	成田国際空港へ向け出発 伊丹空港へ向け出発 伊丹空港到着 加古川市国際交流センター到着	

事前研修

選考会で選ばれた10名の派遣生は、加古川市の代表としてオークランド市を訪問することの認識を深めるために5回の事前研修に臨みました。事前研修では、まず加古川市における国際交流の現状や当協会が実施している事業について学びました。

続いて、ニュージーランドの歴史や文化、自然など基礎的な知識を学ぶとともに先住民族であるマオリ族の歌「ポカレカレアナ」の練習をしました。

また、派遣生はポスターブック（オリジナルの自己紹介冊子）を作成し、ホームステイ先で自分や家族、日本や加古川市のことを英語で紹介する準備をしました。

英語研修では、当協会でご活躍されているポール・ジュコフスキー先生による、実践的な英会話を学びました。さらに、昨年度の派遣生を招いての座談会では、ホームステイや学校訪問など実際の体験談やアドバイスを聞くことができ、より一層海外派遣への期待が高まりました。

また、訪問先の学校で披露する歌の練習やプレゼント作りを派遣生が協力して行うことで、派遣生同士の仲は深まり、派遣団の絆（結束）はゆるぎないものとなりました。

事前研修日程



ラザフォード・カレッジにプレゼントする法被にメッセージを記入しました

第1回	6月25日	オリエンテーション、自己紹介
第2回	7月9日	加古川市国際交流協会についての理解
第3回	7月26日	昨年度派遣生との座談会、歌の練習
第4回	8月2日	英語研修、歌の練習
第5回	8月9日	歌の練習、滞在上の注意、決意表明

結団式

8月6日（土）に国際交流センターにて、結団式を実施しました。加古川市長や加古川市議会議長から激励のお言葉をいただき、加古川市を代表して派遣されることへの責任を改めて感じました。また、国際ソロプチミスト加古川から現地で使用するリュックをいただきました。そしてリーダーの西川さんが派遣にかかる意気込みを力強く宣誓しました。



激励のお言葉をいただきました



結団式後に記念撮影

8 日間の記録

8月15日（月）・16日（火）

香田 凜

待ちに待ったニュージーランドへの旅が始まろうとしていることに、皆、わくわくしながら加古川市国際交流センターに集合し、まずは出発式を行いました。出発式が終わると、たくさんの人に見送られ、バスで伊丹空港まで移動。

伊丹空港では、弁当を食べたり、荷物検査をしたり、パスポートを見せたりしました。無事終わると飛行機に乗り、成田国際空港まで移動。



滑走路を背景に

成田国際空港でも、荷物検査やパスポートのチェックをしました。無事通過し、出発時間まで休憩。出発時間になると、飛行機に乗り、次はオークランド国際空港まで移動。飛行機は、ニュージーランドの時間で、朝に到着予定で、長時間のフライトを楽しみました。

オークランド国際空港に到着すると、再び荷物検査。英語での検査で、緊張しましたが、無事通過出来ました。

初めて、海外へ行く人も多く、楽しみである反面、不安なこともたくさんありましたが、いよいよ始まる、ニュージーランドでの研修に、皆、わくわくしていました。

8月16日（火）

藤野 麗

とても長いフライトを終え空港から出ると、そこには見たことがない景色が広がっていました。より子さんという方にガイドをしてもらいつつ、バスで博物館へと向かいました。博物館

では、マオリの歴史などを学びました。そして昼食をレストランで食べたあと、ラザフォードカレッジに行きました。そこでは日本人の方もおられ少し意外でした。

教室に入り、ホームステイの説明を受けていた時、僕のホストファミリーが迎えに来てくれました。皆より少し早く家へと向かいました。向かう途中、車の中で色々質問されましたが、ほとんど聞きとれなくイエスとしか言えませんでした。家に着くと部屋を貸してくれました。



ホストファミリーの皆さん

話が合い、とても楽しく話す事ができました。何事も少しの勇気が大切だと思いました。

ホストファミリーと話そうとしましたが、全員自分の事をしていました。ここで退いては何も誰とも話せないと思い、勇気を出して話しかけました。すると

8月16日（火）

御船 渚紗

いよいよ一番楽しみにしていたホストファミリーとの対面の時がやってきました。ずっと楽しみにしていたのでとてもワクワクしていましたが、それと同時に緊張もしていました。



ホストファミリーはどんな人だろう

ラザフォードカレッジに向かっているバスの中では、「ホストファミリーは優しいのかな」とか、「車の中で無言が続いて気まづくなったらどうしよう」とずっと考えていました。周りのみんなが元気よく笑顔でホストファミリーに自己紹介をしているところを見ると、焦りと不安でいっぱいになりました。しかし、私のホストマザーが会った瞬間にハグしてくれたおかげで、私の今までの緊張は嘘のように解けて、笑顔でホストマザーと話すことができました。ハグしてくれてとても嬉しかったし、今から本当にホームステイをするんだという実感が湧きました。車の中でもホストマザーと会話を楽しむことができて良かったです。

8月17日（水）

田中 萌子

今日はラザフォードカレッジに行き、授業を受けました。

ニュージーランドの学校は校舎がたくさんあり、ラグビーのゴールポストがあり、授業のチャイムはサイレンのような音でした。初めてチャイムを聞いた時はみんな警報だと思ってしまい、とても笑いました。



学校みんなとおしゃべり

学校の生徒たちがポフィリというマオリの歓迎の儀式を行ってくれました。とてもかっこ良くて、私も日本の伝統芸を学びたいと思いました。

お昼を食べた後は、日本語クラスへ行きました。

私はインド人・台湾人・日本人の女の子と話が盛り上がりました。熱心に日本語を学んでいる人たちと話をしていると、私も負けなくてもっと英語の勉強を頑張ろうと思いました。とても貴重な経験がたくさんできて、忘れられない1日になりました。

8月17日（水）

諸富 理乃

この日はラザフォードカレッジに学校訪問をしました。



友達と一緒に！

最初からいきなりバディーを組んでその人のクラスに入りましようと言われてみんなかなり緊張していました。でも会ってみるとすごく明るくて優しくて、テンションが上がりました。

学校訪問をして一番びっくりしたのは日本とは全く違う自由な校風です。携帯も普通に使っているし、音楽聞いたり、お菓子食べたり。日本では考えられなくて正直羨ましいと思いました。また、意外と日本人が多かったです。ある日本人の人と仲良くなって話していると、その人は英語をみっちりやりたくて10か月留学しているそうです。日本からだけじゃなくて、フランスからもよく来ているよって教えてもらって外国に一人留学なんて、みんな本当にすごいなと思いました。私も将来留学したいから、そのときに少しでも困らないようしっかり勉強しようと思いました。

8月18日（木）

橘 彩菜

ニュージーランドに着いて3日目は、ワイタケレ森林公園と日本庭園、そして動物園に行きました。

まず初めに、ワイタケレ森林公園に行きました。とても広くて空気が綺麗でした。日本では見ることのできない植物もたくさんあって、森の中を歩いているだけで、とても楽しかったです。カウリの木という、樹齢800年のとても大きな木を見ることが出来ました。

そしてその後、日本庭園を見に行きました。この日本庭園は、加古川市が友好の証としてオークランド市に贈ったものだそうです。

そしてこの日最後には動物園に行きました。



動物園にて

ニュージーランドの国鳥であるキウィを見ることが出来ました。普段は寝ていることが多く、見ることができたのはとてもラッキーなことだそうです。

たくさんの自然を体験できて、とても楽しい1日でした。

8月19日（金）

岡本 結羽

ニュージーランド5日目、この日も気持ちのよい晴天の空が広がっていました。

まず、私たちの大事な役目であるタウンホールで岡田市長からの親書を手渡しました。見学やお話もあり、ニュージーランドについてさらに深く知ることができました。

次に南半球で最も高いスカイタワーへ行きま

した。エレベーターを降りた先に広がる、オークランド市内を一望できる景色の美しさに驚き感動しました。スカイジャンプも間近で見て怖かったですが楽しそうでした。

その後マウントビクトリアに登るのを競歩で競争し標高80メートルの丘からの360度のパノラマは絶景で素晴らしかったです。



マウントビクトリア登頂！

最後にフェリーに乗って、澄んだ風に当たりながらオークランドへ戻りました。

一日中わくわくすることだらけで皆と心から楽しみました。そして様々な所で新しい発見と出会いがある日でもあり充実しました。

8月19日（金）

西川 友加奈

昨日動物園で購入した、お気に入りのキウィの帽子を被りバスに揺られタウンホールへ行きました。外見は綺麗な建物で、ガイドさんの説明がなければ何の建物か判らなかったです。中に入ると蜘蛛の巣が全く無く、意地でも探しまくりましたが隅々まで掃除が行き届いて驚きました。

そして、ある部屋に入りました。そこには、絨毯が敷いてあり椅子が2却有りました。説明によると絨毯は100年も前から有るそうで、その上に立ち歴史を感じ取れました。椅子は何気なしに座り写真撮影をしましたが、後でオー



タウンホール

クランドの市長さんと加古川の市長さんが面会する凄い場所なのを聞き、驚きを隠せなく動揺し皆の顔を見たら皆かしこまっていました。その

他にも、旧会議室にも入る事ができ、窓がステンドグラスで太陽の光が入りキラキラと幻想的な光で綺麗でした。この体験でさらにオークランドの歴史に触れられ学べた一日でした。

8月20日（土）

香田 凜

楽しみでもあり、不安でもあった、ホストファミリーと共に1日を過ごす、ホストデーの日がやってきました。



マウントイーデンにて（火口）

8月16日に対面してから、4日間お世話になり、はじめの頃より、会話をすることが多くなりました。この日は、派遣団員の橘さんが家に来て、僕のホストファミリーと一緒に行動しました。

午前中はニュージーランドの観光地である、マウントイーデンとワンツリーヒルへ、ホストファザーに連れて行ってもらいました。どちらの山も眺めがきれいで、すでに訪れたスカイタ

ワーやマウントビクトリアなども見る事ができ、十分に楽しめました。

昼食を食べた後、家に帰り、お手伝いをしました。庭の芝刈りとキッチンの壁作りをしましたが、なかなか、大変な作業でした。

色々しているうちに夜となり、明日、お別れだと思うと、とても寂しく感じました。本当に親切な方々で、とても感謝しています。楽しく良い1日となりました。

8月20日（土）

藤野 麗

この日僕は朝イチで髪を切りに行きました。僕は一度海外で髪を切ってみたかったのです。ここで一番人気の髪型にしてくださいと注文するとおもしろい髪型になりました。ワックスでガチガチになった髪の毛のままスーパーマーケットに行き、お土産を買いました。お土産屋の半額で済みました。お昼ご飯はお寿司を食べました。日本のお寿司よりも美味しかったです。夜にはパーティに参加しました。クイズパーティでした。クイズも英語で出題されるのでほとんど正解できませんでした。楽しそうに会話していてもほとんど聞き取れませんでした。しかし、なんとかして伝えようと、絵を描いてみたりしてみました。すると、不思議と会話がはずんできました。なにも言いたい事を伝えるのは言葉だけではないと気付かされました。これに気付いたことはとても素晴らしい経験でした。



ホストファミリーとのクイズパーティー

8月20日（土）

御船 渚紗

ホストデーの日はホストマザーのプッシュパと隣の家でホームステイしていた、派遣団員の田中萌子さんと一緒に楽しみました。



ウィンターガーデンにて

初めに、プッシュパの車に乗せてもらい、ウィンターガーデンという植物園に行きました。ニュージーランドの植物や熱帯の植物をたくさん見ることができました。次にミッションベイに行ってプッシュパのスペシャルドリンクを飲みました。温かくておいしかったです。

家に帰ると萌子ちゃんが誘いに来てくれて一緒にサイクリングにいきました。観光ではできない体験をした気がして、とても楽しかったです。夜はプッシュパにカレーとロティの作り方を教えてもらいました。私はナンが好きなのでナンに似たロティの作り方を教えてもらえて本当に嬉しかったです。私が帰るときには、プッシュパがカレー粉とターメリックを買ってくれました。家で両親につくってあげたいです。

8月20日（土）

田中 萌子

この日は、ホストファミリーと過ごす日でした。朝は早い時間にマーケットへ行きました。私は大きなスーパーマーケットのようなお店だと思っていたけれど、実際はフリーマーケットのようなもので、野菜や色々な国の食べ物、服やお土産まで売っていて驚きました。ホストファザーのおすすめで、すごく辛い物を食べてあ

たふたしていた時にとても笑われてしまいました。でもそれをきっかけに、たくさん会話もできて良い思い出になりました。



ホストファザーと渚紗と

夜には、ホストファザーとスーパーマーケットに行きました。人気のおかしを教えてもらいお土産だけではなく自分用の物までたくさん買ってしまいました。帰りは海の近くを通りました。オークランドの夜景はとてもきれいで、遠回りしてまで見せてくれたことが本当に嬉しかったです。

8月20日（土）

諸富 理乃

いよいよ待ちに待ったホストデー。この日は本当に最高でした。今まで私が過ごした休日のなかで1番かも！と思えるぐらいです。

私はビーチに連れて行ってもらいました。1つ目のビーチでランチを食べて、2つ目のビーチは裸足で駆け回りました。そのビーチは崖を下りないといけなくて、そこを下りられたのは今までの生徒の中で私一人だったらしく、ユーアースペシャルガールと言われて誇らしげな気分になりました。洞窟みたいなところがあって岩場を登ったり下りたり結構ハードだったけれど楽しくて仕方がなかったです！この日一日一緒に遊んだり案内してもらったりしたから、ジョシュアとキアナとかなり仲良くなれました。すごく嬉しかったし楽しかったです。最後、パパがキアナ&リノと砂浜におしゃれに書いてく

れました。ニュージーランドのビーチは大きくて広くて景色もきれいで、何もかもが感動的でした。



海最高！！

8月20日（土）

橘 彩菜

ホストデーはホストマザーに用事があったので、ホストマザーの友達ともう1人の派遣生の香田君と一緒に、マウントイーデンとワンツリーヒルへ連れて行ってもらいました。



マウントイーデンにて

前日にマウンドビクトリアという山へ行ったことを話すと、近くにあるもう一つの山であるマウントイーデンへ連れて行ってくれました。この山は活火山だということを聞いてとても驚きました。頂上からの眺めはとても素晴らしかったです。

その後、ワンツリーヒルというところに連れて行ってもらいました。この場所は昔、木が1本だけ植えられていたので、ワンツリーヒルという名前がついたそうです。今は切り倒されて塔のようなものが建っていました。

ホストデーでは、いつもよりたくさん話すことができ、いろいろなところへ行って、ニュージーランドのことについても聞けたので、とても楽しかったです。

8月20日（土）

岡本 結羽

今日は待ちに待ったホストデー！

朝、犬の散歩に行くついでに朝ご飯のパンを買いに行きました。



散歩中トリシカと！

家の周辺を歩くことがなかったのもまた違った景色が見られて、美味しそうなドーナツが買え、トリシカとは手をつないで話したり歌ったりしながら歩くことができ、とても楽しい散歩でした。

その後一日、ファザーとリオオリンピックを見ながらスポーツについて話したり、トリシカとアニメを見たり、トリシカとトリシカの友達マリアと3人でゲームやシャボン玉をしたり、マザーのドレス作りを手伝ったり。これらはどれも私の日本での休日ではないことなのでとても新鮮で、面白かったです。

家族同然に過ごせたおかげでさらに仲良くなれ、本当に幸せでした。別れがもうすぐなことが悲しくて泣いてしまった時には私を抱きしめてくれました。改めてホストファミリーの温かさやさしさを心から感じました。

8月20日（土）

西川 友加奈

今日は休みなので朝は遅めの11時に起床。その後、スーパーで買い物し帰宅後に、私が昼食の稲荷ずしと即席味噌汁を作りホストファミリーのキムも何故か？カップケーキを作っていました。完成して皆で食事を取りました。すると、「病みつきになりそうだよ！」と大好評でしたが、味噌汁はわかめと麴が口に合わない感じでした。少ししてカルフォルニアからママのお婆ちゃんと曾お婆ちゃんが来ました。話が盛り上がり、英語の速さについて行けなかったですが、解る話には相槌を打つ等して努力しました。そうすると、お婆ちゃんに「英語が綺麗ね。」と褒められました。そんな時間を過ごし夕食のフライタイム。苦手でしたが食べ終えた後にキムのカップケーキとアイスが出てきました。その日は曾お婆ちゃんのお誕生日だったのです。実はキムが作っている時にこっそり教えてもらいましたが、96歳とは驚きでした。次はカルフォルニアにおいでね！と招待されました。



みんなでお祝い！お婆ちゃんと曾お婆ちゃんと猫

8月20日（土）

宮内 玲

この日は1日ホストファミリーと過ごす日でした。まず朝起きて朝食を取った後、すぐに車に乗って教会に行きました。私は教会は日曜日に行くものだと思っていましたが、土曜日にもいくんだなあと思いました。教会についてから

若い人たちだけが入ることができる部屋に案内されて、たくさんの若い人たちと話しました。いきなり部屋に案内されたので始めはとても緊張していましたが、私からみんなに自己紹介をすると、みんなも自己紹介をしてくれたのでうれしかったです。



ホストファミリーと

それから聖書のことについて話し合うことになり、みんなで意見を出し合いました。私は最初から最後まで何を言っているのか分からず困り果てましたが、隣の女の子が私のことをずっとサポートしてくれていたのも、なんとかつまずずに話し合いをすすめることができました。日本とはまた違った習慣ですが、とても楽しかったです。

8月20日（土）

戸塚 紗英

この日はホストマザーのシャロンがコーヒーショップに連れて行ってくれました。そこでホットチョコレートとマシュマロを買ってくれました。とてもおいしかったです。昼食は私が日本から持って行った食材で“お好み焼き”を作りました。ファミリーは、みんな「ナイス！」「デリシャス！」「グッド！」と何度も言ってくれて本当に嬉しかったです。その後シャロンとホストデーの前日に仲良くなった日本の大学生と3人で、羊がたくさんいる公園へ行きました。そこには私がイメージしていた“ニュージーランド”の景色が広がっていました。

羊だけでなく馬や豚、牛や鶏なども見る事が出来ました。すごく楽しかったです。家への帰り道マクドナルドに食べに行きました。日本のマクドナルドの商品よりもサイズが大きい

かなと思っていましたが日本のサイズと同じだったので驚きました。一日中ホストファミリーと過ごせた時間は初めてだったので思い出に残る最高の一日となりました。



ホストチューデントのページとロリー

8月21日(日)

宮内 玲

この日は、いよいよ6日間過ごしたホストファミリーとのお別れの日でした。

私のホストファミリーは、3人家族で、初日から温かくわたしを迎えてくれました。ホストファミリーのみんなはとにかく優しく、時折ジョークを混ぜて話してくれたりするところも大好きでした。なのでお別れの時に、「もう会



家族全員で

うことはできないんだ」と思うと涙が止まらなくなっていました。最後は、ホストマザーとハグをしてお別れしました。

お別れの後、私たちはオークランドのホテル

に泊まりました。夜になると女子の派遣生のみんで集まって色んなことを話し合いました。将来のこと、進路のこと、学校のこと、自分のホストファミリーのこと・・・と、夜更けまで話し合いました。全員が同い年だったので、気を遣うこともありませんでした。本当にこの派遣生みんなで来ることができてよかったなあと心から思いました。

8月22日(月)

戸塚 紗英

早朝、ホテルを出て空港でお土産を買いました。その日は日本に台風が近づいていて予定より約2時間遅れで、飛行機に乗りました。たくさんの思い出ができたニュージーランドと今まで一緒に過ごしてきた派遣団の仲間たちとも、もうすぐお別れでこの研修もいよいよ終わりかと思うと寂しい気持ちになりました。

日本に到着し、飛行機から降りるとニュージーランドとは真逆の季節で、ものすごい暑さが襲ってきました。国際交流センターには10時半を回って、無事に帰ってくることができました。夜遅くにたくさんの方々が私たちの帰りを温かく拍手で迎えてくださいました。本当に日本に帰って来たという実感がわきました。この仲間と過ごした時間は決して忘れられない大切な宝物です。そしてこのような貴重な体験が出来たのはこの9人の仲間だったからこそだと思います。みんな本当にありがとう。ニュージーランドありがとう。



帰りの飛行機で

帰国報告会

8月26日（金）加古川市役所で岡田市長と田淵教育長への帰国報告会を行いました。派遣生は、現地で経験したことや学んだこと、これから取り組んでいきたいことなどをそれぞれの言葉で報告しました。

「ニュージーランドの人々は親切で温かかった」「些細なことにも感謝することを学んだ」と日本では体験できない貴重な経験を語る生徒や、「これからもっと英語を勉強して、国際交流に参加したい」「日本の良さに気づいた。もっと日本について学び、海外に伝えたい」と将来の目標を語る生徒もいました。堂々と報告する派遣生の姿からは、今回の派遣で大きく成長した様子が感じ取られました。



派遣生の報告



報告後の談笑



最後に記念写真

事後研修

9月10日（土）国際交流センターにて事後研修を実施しました。

研修では、報告書の作成や現地で撮影した写真の交換、学校訪問で訪れたラザフォード・カレッジへのお礼の色紙作りをしました。また、派遣生から本事業へ意見として、「たくさんの国の学生との出会いがあった」「日本ではできない経験をたくさんすることができた」「次の人達にも自分達と同じような良い経験をしてもらいたいのので、事業をこれからも継続してほしい」などの声が聞かれました。

団員レポート



マウントビクトリアにて

夢のような8日間

志方中学校

岡本 結羽

ニュージーランドでの8日間、行く前の私には感じたり学んだり、経験したりできなかったことばかりを経験し私の人生の中で最も素晴らしい思い出ができました。

私は海外に行くのも飛行機に乗るのも初めてでした。だから試験に通ったときは本当に嬉しくて、憧れのニュージーランドの地にいけると思うと興奮がおさまりませんでした。しかし、それとともに大きな不安と緊張が頭の中に渦巻きました。英語に自信がないし寝ることができるのかも心配でした。そんな中の事前研修はもちろん緊張しましたが、研修を重ねるたび皆との仲が深まり、不安は少しずつ期待に変わりました。そして、なんとかなると信じることにしました。



トリシカからプレゼント！



特別なお祭りの風景

出発の日、初の飛行機はわくわくして11時間のフライトもあったという間でした。空港を出ると未知の世界が広がっていました。青空が広がり、空気が澄んで綺麗で、気持ちのよい風が私たちを迎えてくれました。これからのたくさんの活動と出会いに胸が弾みました。

オークランド市内見学では見たことのない素敵な景色に見惚れ、カメラを常に構えていました。高層ビルやスカイタワーがそびえ立ち豊かな自然が共存し、私達を様々で独特な姿、形で魅了してくれました。

1日目の午後、初めてホストファミリーと対面しました。緊張し過ぎて最初はただ笑顔でいることしかできませんでした。18歳のシャヤルは私を気遣ってくれました。家まで送ってくれたホストファミリーの知り合いの方は私がわからないことを教えてくれたので、安心して心が落ち着いてきました。しかし2人が話していることは理解できないこと

が多く、自分のリスニング力の低さに悔しさを覚えました。それでもまだまだこれからだと思い、慣れない英語でしたがなんでも伝えたいという思いと笑顔を忘れず気になることは全て質問しました。そんな私に対してホストファミリーは優しく、そして理解しようと一生懸命に対応してくれました。そのおかげで、滞在した6日間で本当の家族のようになれる英語で話すことが当たり前のようになるようになりました。日本のことも伝えることができ、ホストシスターのトリシカとは一緒に折り紙やラジオ体操をしました。ホストファミリーはインド系で、ニュージーランドの文化だけでなくインドの文化も生活の中でたくさん感じられました。5日目に親戚が家に集まって特別なお祭りが行われ、私は異文化を体験しました。そこには温かい笑顔が溢れていて、私は優しい気持ちになりました。こんな素敵な家族に迎えられ、一緒に過ごせたことは本当に幸せだと思いました。お別れのときには本当に寂しく涙を流しましたが、絶対戻っておいでと言ってハグし、再会を約束しました。ホストファミリーとは今も連絡を取り合っています。

ニュージーランドでの時間は夢のようで本当に帰りたくないと思ったし様々な出会いをいただきました。そして日本と離れて改めて支えてくれている人々の大きさに気づかされました。今後は、この研修をたくさんの人に伝えたいです。そして今回、英語や人としての課題や目標が見つけれられたのもっと成長し、これを第一歩としてさらに国際交流に参加して、世界に飛び出したいです。研修によって世界が大きく広がり、世界は未知だらけだと知りました。もっと沢山のことに日々挑戦し発見していきたいです。素晴らしい経験のおかげで自分を変え、成長することができた日本に帰国して感じました。自分に自信も持てるようになりました。そしてどんなときも相手を思いやり、笑顔を忘れず自分の意思をはっきり伝えること。これは国境を越えても忘れてはならない大切なことだと学びま



最後にシャヤルと犬のエイプリルと

した。

この派遣団と先生方と行くことができて、本当に楽しく幸せでした。派遣団、先生方、ホストファミリー、現地の人々、応援してくれた家族、友達、お世話になった方々、素敵な宝物をプレゼントしてくれたニュージーランドが大好きです！もっと成長し、また絶対ニュージーランドに行きます。ありがとうございました！



おそろいのTシャツ！

ニュージーランドでの貴重な経験

志方中学校

香田 凜

この海外派遣事業が、初めての海外である僕は、期待と不安が入り交じった中で、8月15日を迎えました。海外派遣に合格した時は、大喜びしましたが、この日が近づいてくるにつれて、不安が段々と大きくなっていきました。

派遣研修1日目は、ニュージーランドまで、移動するための日で、翌朝、長時間のフライトを終え、オークランド国際空港に到着しました。心配事の1つでもあった荷物検査も無事通過でき、初めて、ニュージー



伊丹空港のスカイデッキで

ランドの綺麗な空気を吸いました。季節が、夏である日本から、冬であるニュージーランドにきたこともあり、ついに海外へ来たことを実感しました。これから始まる派遣研修に、とてもわくわくしていました。



樹齢1000年のカウリの木

色々な場所に行き、色々な思い出を作りましたがその中でも、特に印象に残っているのが、ホストファミリーと過ごした日々です。ニュージーランドに到着したその日に、ホストファミリーと対面することになっていました。英語は苦手な教科の1つですが、その中でもリスニングがとても苦手で、この派遣研修で1番、不安だったことが、ホストファミリーと英語で会話することです。ラザフォードカレッジで、緊張しながら待っていると、僕にも迎えが来て、車で家まで行きました。車でも、家でも、いくつかの質問をされましたが「はい」か「いいえ」や1語ぐらいでなら答えることもできましたが、それ以外だと、上手く伝えることができませんでした。対面したその日のうちに、事前に作成したポスター

ブックを見せたり、日本のお土産を渡したりして、会話をしようとしたものの、質問された時に、この時も上手く対応出来ませんでした。このままでどのように、残りの日を過ごせばいいのか、とても不安になりました。しかし、せっかくの貴重な経験を無駄にしたくない、という思いから、聞きたい事や分からない事があれば、必ず聞くようにしました。また、手伝うことがあれば、積極的にするようにしました。そうしたことで、はじめて会った時より、ホストファミリーと話すことが多くなり、ホストデーでも、楽しく、過ごすことができました。ホストファミリーのおかげで、日本では経験できないことを、たくさん経験させてもらいました。

派遣研修4日目も、楽しかったです。ワイタケレ森林公園ではとても自然を大切にしていることが伝わってきました。マオリの人も切ることができなかったカウリの木も見ることができました。中には、樹齢1000年のものもあり、その大きさに驚きました。日本庭園では、加古川市がオークランドに寄贈したものだと言われていすごいなと思いました。動物園では、見たことがない動物が見られました。見たいと思っていたキーウィも、運よく見る事ができ、とても嬉しかったです。また、ホーキーポーキーアイスも食べることができて、とても良い1日となりました。

本当に貴重な経験が、たくさんできた派遣研修でした。自分にとって、これまでに1番楽しく、とても成長できたと思います。加古川市を出発してからの8日間は、あっという間でしたが、とても充実したものでした。そこで僕に、たくさんの経験をさせてくれた、



ホストファミリーと



動物園にて

色々な人に感謝したいです。引率してくださった森元さん、梅谷さん、佐藤先生、派遣団員の人たち、ホストファミリー、特に両親にはとても感謝しています。また、ずっと晴れた中で過ごさせてくれて、日本ではできないことをさせてくれた、ニュージーランドにも、感謝しています。色々な人に支えられ、ニュージーランドで過ごした経験は絶対に忘れられないと思います。また、ニュージーランドに行けたらいいなと思います。

一生の思い出になった8日間

中部中学校

橘 彩菜

私は今回の海外派遣で初めて海外へ行きました。英会話などを全く習ったことがなかったので、海外へ行ってきちんと過ごしていけるのかとても不安でした。けれど到着すると見たことのない景色が広がっていてとてもわくわくしました。飛行機にとっても長い間乗っていた疲れも吹き飛ばすようでした。空港から出た時のひんやりとした空気は忘れられません。



ラザフォード・カレッジの図書館にて

ニュージーランドに着いて1日目の市内見学は驚きの連続でした。博物館で、マオリ族



スカイタワー

の人たちがつくった建物の柱に施されている彫刻ひとつひとつに意味があると聞いた時は、本当にすごいと思いました。1本の柱がひとつの物語になっているそうです。そして、ホストファミリーとの対面ではとても緊張しました。私のホストファミリーはシェリーというとても優しいホストマザーでした。シェリーは家へ行くまでの車の中で私にたくさん話しかけてくれました。けれど、私は質問に答えるのが精一杯で、自分から話題を作って話すことができませんでした。普段、学校などで英語は勉強してきたつもりでしたが、いざ話してみるとその難しさを痛感しました。

2日目は学校見学をしました。日本とは全然違う学校の様子を見ることができ、マオリの儀式も受けることができました。自分で受ける授業を選べることや、何かを調べるために授業中にスマートフォンを触っていたことなど日本では考えられないことがたくさんありました。

学校は、優しい人たちばかりで、たくさんの人と出会うことができました。3日目以降は、ニュージーランドの観光をしました。森林公園や動物園やタウンホールに行ったり、スカイタワーに行ったり、ショッピングをしたり…、その他にもたくさんの場所へ行き、

たくさん経験をしました。動物園では、ニュージーランドの国鳥であるキウィを見ることができ、移動中のゾウをととても近くで見ることができました。スカイタワーからは、素晴らしい景色を見ることができました。エレベーターが動くのがとても速かったり、バンジージャンプをしている人がいたり、ガラス張りの床があったりもしました。

タウンホールでは、最上階でハ

チを飼っているそうです。最近ハチの数が減ってきているので、病気が入ってきた時に、タウンホールのハチによって、すぐ異変に気づけるようにしているということを聞いて、とても考えられていると思いました。ちなみに、はちみつもとれるらしいです。そして、ショッピングでは、日本の知り合いへのお土産をたくさん買いました。家族や友達のことを考えながらお土産を選ぶのはとても楽しかったです。

ホストマザーにも、教会や、スーパーや、海など、いろいろなところへ連れて行ってもらいました。出かけるたびに面白いことや、驚きがたくさんあって、全てのことが新鮮に感じられました。最初は全然話すことができなかったけれど、最終日には自分から話し出せるようになりました。ホストマザーからたくさん話を聞くことができ、ニュージーランドの人たちの温かさに触れることもできて、本当に良かったです。

私はこの海外派遣で、上手く英語を話せなくても気持ちで伝えられるということ、そして、何事にも挑戦していくことの大切さを学びました。今回のホームステイは本当に貴



スカイタワーからの景色



ホストマザーと

重な経験になりました。申し込む前は迷いもあったけれど、挑戦してニュージーランドへ行って良かったです。これからはもっと英語を練習して、ニュージーランドで出会った人たちに会うために、もう1度ニュージーランドへ行きたいです。

たくさんの出会いと発見

浜の宮中学校

田中 萌子

私はこの海外派遣団に選ばれた時、信じられないくらい嬉しかったです。これが初めての海外だったけれど、事前研修を重ねみんなと仲良くなれたので不安はなく、出発がとても楽しみでした。

この派遣で1番心に残っているのは、ホームステイです。ニュージーランドに着いた時はとてもわくわくしていたのにホストファミリーに会う時には緊張でガチガチになってしまいました。でも、ホストは、車の中でも家でも話しかけてく

れ、ジョークを言って笑わせてくれたので、少し安心しました。ホストはとても優しい人たちで、まだ緊張が残る私が1日目ずっと無言だった時には、アイスクリームのスプーンの代わりに箸を私に渡してきたり、急にボールを3つ同時に投げて笑わそうとしてくれたのが嬉しかったです。そして、買い物・サイクリング・家事の手伝いなどニュージーランドでの様々な日常生活を体験させてくれました。ホストファミリーが私を本当の家族のように接してくれたことにとても感謝しています。

出発前の私は英語に自信がありましたが、ホームステイをしていると私の英語力ではまだまだ通じないことが分かりました。ホストファミリーは私のことを気遣ってゆっくりと話をしてくれたので、内容を理解することはできました。でも、返事をする時は「イエス」や「オッケー」などの相づちのようなものでしか返せませんでした。とても悔しかったです。でもこのままではおもしろくない、終わりたくないと思ったので「気合」と「根性」と「笑顔」を意識して話すようにしました。言いたいことが伝わった時は達成感があり、やってよかったと思いました。



ニュージーランドに到着



夕飯はバーベキュー

ニュージーランド2日目は、ラザフォードカレッジを訪問しました。授業はバディのダニエルと一緒に受けました。彼女は日本語のクラスを取っていたので、体育の時間に「授業は楽しいですが、先生は怖いです」というように日本語で冗談を言ってくれ、楽しく会話ができました。授業ではほとんど全員が自分から意見を言い、話し合いをしていました。日本の授業では意見を言う機会はあまり無く、あったとしても誰も発表をし



オークランド動物園にて

ないことがあるので、まずは自分から真似をして積極的に意見を言える人になろうと思いました。日本語の授業もあり、日本語を学ぶ人がたくさんいて嬉しかったし、私も負けないで英語の勉強をしようと思います。ランチの時はホストの用意してくれたお弁当を持って行きました。中身はピザとお菓子と果物でした。果物は丸々1個入っているのが普通だそうで、私はバナナでしたがリンゴやキウイの人もいて、丸かじりをしているのを見て文化の違いに驚きました。

市内見学で動物園へ行った時に珍しいキウイバードを見たり、有名なホーキーパーキーパーアイスを食べたり、スカイタワーにも登ってニュージーランドを満喫し、日本に帰りたくなりました。ホストファミリーとは本当の家族のようになれたので、別れが悲しくて涙が止まりませんでした。もっと英語を勉強してもう一度ニュージーランドを訪れようと思っています。



ホストファミリーと

今回の海外派遣では、今まで知らなかった事を見出し、たくさんの人との出会いを経験することができました。特にホストファミリーや森元さん、梅谷さん、佐藤先生、一緒に行った9人の仲間に出逢えたことは一生の宝物です。こんな貴重な経験ができて私はとても幸せです。たくさんの人に感謝の気持ちでいっぱいです。また、どんな違いがあっても受け入れてくれる、ニュージーランドの人の優しくフレンドリーなところがとても大好きになりました。

この経験を生かして、人の役に立てる、人を笑顔にできる人間になろうと思いました。そして、色々な人への感謝の気持ちを忘れずに、これからも努力していきます。

かけがえのない出会い・一生の思い出

山手中学校

戸塚 紗英

“感謝”と“出会い”この言葉をこんなにも感じ、素晴らしいと思えたのは初めてでした。何より今回の派遣団に選ばれたことに感謝したいと思います。

数回の研修を終えすっかり仲良くなった派遣団10人で迎えた出発の日。11時間のフライトを経てニュージーランドに着くと初めて見る美しい景色と空気に感動しました。そしてまず頭にうかんだのが、日本語を話しても通じない。絶対に英語で話さなければなら

ない環境。外国の食事が口に合うのか。そして外国の生活習慣に馴染むことが出来るのか。なにより一番、不安だったことはホストファミリーと英語で上手くコミュニケーションがとれるのかということでした。緊張と不安と期待の中、ホストファミリーと対面

しました。しかし初対面にもかかわらず緊張していた私をファミリーは優しく、まるで家族のように温かく迎えてくれました。

3日目は、ラザーフォードカレッジでの学校体験でした。そこでは驚きの連続でした。まず、バディと一緒に授業体験をしました。授業中に

もかか

わらず、髪の毛を触っている人、ジュースを飲んだりお菓子を食べている人、携帯を触ったり、音楽を聴いている人がいました。日本では絶対にありえない授業風景に驚きを隠せませんでした。その後生徒の人たちがニュージーランド伝統の“ポフィリ”という儀式で歓迎してくれました。“ホン

ラザーフォードカレッジでバディのパブロと



フェリーの中で派遣団の仲間と



ホストファザーのマセルと





ホストチューデントのページとロリーと

ギ”という鼻と鼻をくっつけて行うマオリの挨拶も体験しました。儀式を大切にする文化は、日本に似ていると思いました。学校には様々な国の人がいて、人種もばらばら、髪の毛や肌の色も違う生徒たちがそういうことを気にせず仲良くしている姿に感動し、いいなと思いました。

4日目は、動物園へ行きキウィバードや日本では見ることの出来ない動物もたくさん見ることが出来ました。楽しかったです。

5日目は、派遣団とスカイタワーへ行きました。上からの景色は最高で、オークランドの美しい景色を一望できる素晴らしい眺めでした。

6日目は、ホストデーでした。その日の昼食は私が日本から持って行った食材でお好み焼きを作りました。日本で練習した時ほど上手くは作れませんでした。みんなは「おいしい!」「最高!」と何度も言ってくれました。本当に嬉しかったです。お好み焼きをナイフとフォークで食べていたのもまた新鮮でした。

7日目は、ホストファミリーの友人のお宅へディナーに行き、バーベキューをご馳走になりました。そこで日本からホームステイに來ている大学生とも仲良くなりました。たくさんの人と英語で話すことができ、楽しい時間はあっという間でした。ホストファミリーと過ごした時間が私にとって大切な宝物になりました。別れの時、何度もハグをして、「ありがとう。いつでも帰っておいで」と言ってくれました。もう一つの家族ができたようで嬉しかったです。私がこの8日間で学んだ事、それは外国から日本を見て日本のすばらしさを改めて感じた事、逆に日本にはない外国の良さを発見できたことです。住んでいる国、話している言語が違ってもお互いの気持ちは通じ合える、本当に素晴らしいことだと思いました。これから私も出会いと感謝の気持ちを大切にしようと思います。そしてもっと世界に目を向け視野を広げて生きていこうと思いました。

最後に、今回このような貴重な体験ができたのは、9人の派遣団の仲間や引率して下さった森元さん、梅谷さん、佐藤先生のおかげです。そして現地でお世話になったたくさんの方々、行かせてくれた家族、全ての人に感謝しています。ありがとうございました。そして、またいつか必ずニュージーランドへ行きたいと思います。



帰りの飛行機で

やっと見つけた大切な物

陵南中学校

西川 友加奈

私はこの8日間で一回りも二回りも成長しました。海外派遣事業に行くまでは、正直英語があまり好きではありませんでした『興味あるかも～行ってみたい』と言う思いで応募し落ちてきました。しかし、今回は最後のチャレンジ今迄とは違う強い目的と意思で臨みました。それは、去年の夏に踊った「よさこい」を日本文化として世界のいろんな人に知ってほしいとの思いから始まりました。作文試験には、強い自分の意思を書

き挑みました。また、面接の際には受けたグループ全員でオークランドへの思いを一つにした団結力で臨みました。合格発表はドキドキしながら確認しました。なんと面接グループ全員が合格していて自分でもめっちゃくちゃ驚き、まさかと思い何度も何度も受験番号を見直し生まれて初めて嬉し泣きを体験したのを今でも覚えています。そして、初研修を受けた時は、ワクワクだらけで不安要素なんて1つありませんでしたが研修を重ねるごとに少しずつ、「自分の英語力で通じるのか？」と不安に思うようになり自分なりに勉強するようになっていました。そして、目的とほんの小さな自信と今の英語力を持ってつい



団結力でいざオークランドへ

オークランドに出発し現地に着くと、一番に感じられたことがありました。それは、皆さんが自分の国の文化をとっても大切に誇りに思っている事。平和博物館で見たマオリ族のダンスショーについては、とても憧れを持ち圧巻で衝撃的でした。なぜならば、それは自分の生きた証が踊りで集会所などにずっと残され続けてきたからです。勿論生きた証を踊りで表現するのですが「私もそんな証を残せたらいいのにな



マオリのダンスショー

あ」と思った瞬間でもありました。その後ホストファミリーに直面し、一番初めの言葉が「解らないことが有ったら何度でも聞いてね」と声を掛けていただきました。すごく気が楽になりました。そして、何度も同じ質問ばかりしましたが、「いいよ。何度でも聞いておいで。」と優しく会話を温かく見守りながら、成立するまで付き合ってください日々でした。その度、つくづく言葉と会話は温かいとさとりました。ホストファミリー先には、もう一人ホームステイのキム15歳と猫が3匹居て毎日が想像以上に楽しい時間でした。そんな中、目的の一つでもある日本のよさこいをホストファミリーで動画鑑賞をしました「すごい！早着替えがきれい！」と言って、気に入ったのか何度もリピートし見入っていました。その瞬間、私は「もっと沢山の人のよさこいを知ってほしい」と強く感じやりたい事が一つ確定した瞬間でもありました。そして、この海外派遣事業で大きく自分の気持ちに変化しつつありました。まず一つ目は、英語があまり好きなのではなく、ただただ



ホストファミリーとビーチへ

逃げているだけだと気が付きました。なので、これからは逃げずに面と向かって英語を勉強しようと思いました。二つ目は、自信を持つことです。行く前の私は、小さな自信だけでその場しのぎをしていました。そのおかげで、自分から自信を持って行動することが苦手でした。なので、これからは何事にも自信を持って積極的に行動しようと思いリーダー役にも全力で取り組むことが出来ました。三つ目は、これからの視野が広がり、楽しみも倍になりました。以前の自分は、『これからなんてどうにでもなるかな？』とばかり思い込んでいましたが、海外派遣事業にたずさわることで、世界感がプラスしワクワク感が増



砂浜が黒い珍しいビーチ

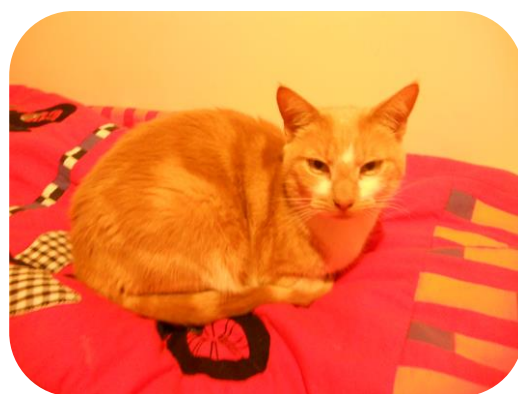
えました。「これがしたい！」と思える夢がしっかりと決定しました。4つ目は、いろんな人に感謝！オークランドは、感謝の言葉で溢れていました。なので普段あまり「ありがとう」と伝えられていない親や友達にちゃんと伝えるようにしたいです。この海外派遣事業で、自分自身が変わるきっかけをやっと発見でき、そして夢が定まりこのメンバーで行ったからこそその素敵な思い出が盛りたくさん詰まった内容の濃い有意義な8日間でした。

初めての場所で

神吉中学校

藤野 麗

ニュージーランドに着いた時、僕には不安がありました。初めて訪れる場所、初めて合う人、長いフライトによる乗り物酔い、などでした。それらの中でも一番不安だったのが、ホストファミリーとの対面でした。全く知らない人の家で数日間暮らすと言うのは、さすがの僕でも簡単ではないと思っていました。そして、実際に合った時、僕のホストファミリーは正直あまり明るくありませんでした。



ホストファミリーの猫

家に着くと、皆自分のことをし始めました。たくさん話したかったのですが、邪魔したら悪いかもしれないと思ってしまいました。しかし、そんな逃げ腰ではいつになっても楽しくなるはずがないし、なにより面白くないという理由で話しかけてみると、とても楽しく話す事ができました。ただ、相手の発音が良すぎて聞き取れなところもありました。聞き取れない時は適当に「イエス、イエス」と、いかにも分かっているかのように流していたのですが、聞き返さない事で厄介な事になってしまいました。僕は毎日ラザフォードカレッジにバスで通っていました。帰りはホストブ



樹齢1000年の木

ラザーのハーデンと一緒に帰っていたのですが2日目の朝にはハーデンから「3時頃にここで待っていてね」的な事言われたので待っているとハーデンが来たので一緒に帰りました。が、問題の4日目、朝に聞き取れませんでした。3日目と似たような事を言われたので帰りも昨日と一緒に帰ろうと思ってしまいました。しかし、帰りハーデンは来ませんでした。後から聞いたのですが、ハーデンは8時までサッカーの練習をしていたらしいです。もしかすると、朝に言っていたのは待つなという意味だったのかもしれません。そんな事も知らずに「先にバスに乗るとハーデンが僕の事を探すのでは」などと思い見事バスを見逃しました。さすがに焦りました。そこで思いついたのがヒッチハイクでした。すぐさま学校内の車を捕まえ事情を説明し、なんとか理解してもらい送ってもらいました。それから、聞き返すのは重要と言う事に気付きました。人の温かさに助けられた時でした。

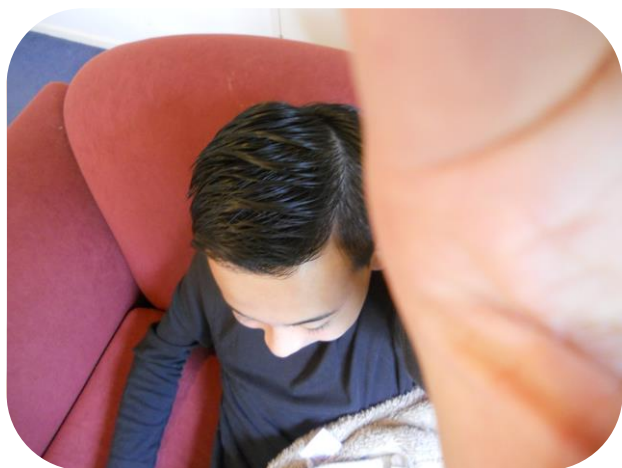
ただなにも悪いことだけが起きたわけではありません。様々な楽しい事がありました。まずは、ワイタケレ森林公園から。ワイタケレ森林公園ではニュージーランドは色々な顔を持っている事がわかりました。住宅地や農場、都会もあればこの公園のように大自然もあります。自然というものはすごく強く、立派でその中には樹齢1000年を超えるものもありました。次にオークランド動物園。そこにはたくさんの見たことが無い動物達がいました。一番可愛かった動物は、やっぱりキウイでした。僕たちが行った時にはたまたま起きていて、キウイ同士でつつき合いをしていました。そしてスカイタワー。スカイタワーの最上階からはニュージーランド全体が一望できました。そこのお土産屋はタワーの高さと合わせているのか、値段もとても高かったです。ちなみにスカイタワー



マウントヴィクトリア

は南半球で一番高い建物らしいです。スカイタワーもかなりの絶景でしたが、それよりも景色が良い所があります。そこはマウントヴィクトリアです。標高は80メートルなのですがそこからの景色はスカイタワーとはまた違う良さがありました。

これらの中でもやはり一番心に残ったのは、ホストファミリーと過ごした時間でした。最初は不安で一杯でしたがホストファ



新しいヘアスタイル

ミリーと話していると不安が楽しいと思うようになりました。何より面白かったです。

僕にとってこの8日間はとても意味のある最高のものとなりました。ニュージーランドでは色々な発見と経験をしました。この派遣を通じて、より海外に興味を持ちました。そして、いつかまだ行ったことが無い場所すべてに足を踏み入れ、そこで、まだ知らない事をもっとたくさん知りたいです。



ホストファミリーと

最高の国ニュージーランドで

神吉中学校

御船 渚紗

今年の海外派遣に参加できることを知ったとき、心の底から喜びがじわーっと湧き上がってきたことを今でも覚えています。初めて派遣団の人たちと顔を合わせたとき、私は正直仲良くなれないだろうなと思っていました。しかし、研修を重ねる度に少しずつ仲を深めていくことができ、移動のバスや飛行機を待っている時間など、いろいろなことを話して笑顔の絶えない時間を過ごすとともに、更に仲を深めることができました。



最高の仲間と

私がこの8日間で特に心に残っていることが3つあります。

1つめはホストチューデントのリンダとの登下校の時間です。初めは、話しかけるのにためらいがあり、一緒に登校していた派遣団の萌子と玲と話していたのですが、玲が「リンダと話さへんの？」と私にいつてくれて、自分の今の英語力を試すという目的でこの海外派遣に参加したことを思い出しました。そして、勇気をだして話しかけてみると、私の下手な英語を一生懸命聞き取ろうとしてくれました。またリンダは、いろいろと私に質問してくれたり、学校のことやニュージーランドのことをたくさん教えてくれました。



ホストマザーと孫のスラヤと

リンダと話しているときは英語を意外に話すことができているかなと自分で思っていました。しかし、夜、日記を書いているときや、寝る前にふと会話のことを思い返してみると、私から話しかけている回数は圧倒的に少なく、リンダの話す文頭がほとんど、ワットやホワイから始まっていることに気づきました。またリンダからの質問に答えるとき私は、単語やイエス、ノー、メイビー、イエアと答えていて、全然

文章で話せていないことにも気づかされました。そんなことを考えていると、ますます落ち込みその日の夜はよく眠れませんでした。次の日から、不思議に思ったことや、ラザフォードカレッジについて聞きたいなと思ったことは、すぐに口に出すことを心がけました。言いたいことが伝わらないときもありましたが、その悲しさよりも、たくさん話しかけることができる嬉しさのほうが遥かに大きかったです。

2つめは、2日目のホストデーで萌子と萌子のホストファザーのジョージと行った、朝市です。ジョージは私と初めて会ったのにも関わらず気さくに話しかけてくれました。ジョージはいろんな店の人とまるで友達のように喋っていて、とても素敵だなと思い、私もそんな風に英語を話せるようになりたいと思いました。



朝市にて

た。ジョージが私と萌子に「カメラを交換したらいいんじゃないか」と言ったのですが、なぜ交換するのか初めのうちは全然理解できませんでした。しかし、その後ジョージが、「風景だけ撮っていてもおもしろくないし、グーグルアースでも見ることができるだろう？」と私たちに説明してくれて、私はやっと理解でき、とてもいい考えだと思いました。

そのおかげで、私たちはたくさんいい写真をとることができました。



ホストファミリーと

3つめは、なんといってもホストファミリーと過ごした時間です。夜ごはんを食べた後は家族全員とラウンジで、いろんなテレビを一緒に見ることができました。リオオリンピックのラグビーも一緒に見ることができました。オール

ブラックスのハカはとても迫力があり、カッコよかったです。ホストマザーのプッシュパが大人になったらまたおいでと言ってくれたのでまた行きたいです。

この8日間は今思うと本当に夢のような体験でした。一日一日がとても濃くたくさん人の温かさに触れました。それは私にとって貴重な体験となりました。この素晴らしい体験をそばで見守って下さった、森元さん、梅谷さん、佐藤先生、そして私の海外派遣を一番近くで誰よりも応援してくれた両親に感謝しています。またこの9人の素敵な仲間といろいろな体験を共にできたことを幸せに思います。本当にありがとうございました。

幸せすぎたニュージーランド

両荘中学校

宮内 玲

この8日間は、今まで生きてきた中で最も大きな出来事でした。11時間のフライトを経て着いたニュージーランドは、満天の青空で私たちを出迎えてくれました。

ニュージーランドに行く前は「ホームシックになるんじゃないかな」と、不安な部分もありましたが、いざニュージーランドの地に足をつけると、謎の自信とワクワクで私の心は満ち溢れていました。

その後、すぐにホストファミリーと対面しました。ホストマザーはとっても優しい人でたくさん私に話しかけてくれました。

2日目の私は、彼女の言葉をよく聞き取ることができず、ほとんど相づちをうっているだけになってしまいました。でも、「こんなところで無口になったってしょうがない！」と思った私は、とにかくホストファミリーに話しかけ、たくさんコミュニケーションをとろうとしました。私が一生懸命に話しかけていると、ホストマザーが、「こんなに話してく

れるホストチューデントは初めてよ！」と私に言ってくれたのでとてもうれしかったです。

3日目はラザフォードカレッジに学校訪問しました。ニュージーランドの学校は日本と違って、授業中の雰囲気はとても賑やかでした。私は、授業の話を聞き取ることができなかったのですが、バディになってくれた人とその友達にたくさん質問したり、会話したりしました。学校に行って気づいたこと



いざニュージーランドへ！



ノリのいい人たちと

は、ニュージーランドの生徒は、髪の毛の色や肌の色、男女問わず仲がいいなあと思いました。日本人だと、外国人の方が来てもなかなか仲を深めることは難しいけれど、ニュージーランド人は、違う肌の色のひとでも簡単に仲良くなることができていてすごいなあと思いました。

5日目の夜に、ホストファザーは聖書を持ってきて、私にキリスト教の歴史を教えてくださいました。前日ホストファザーは私に、「君は神様を信じているかい？」と質問してきました。私は、全く神様を信じていなかったのので、「いいえ。信じていません。」と伝えると、ホストファミリーは目を丸くして驚いていました。ホストファザーは、絵が描いてある聖書で一生懸命わかりやすく説明してくれました。あまり聞き取ることができなかつたところもありましたが、教えてくれたことがとてもうれしかったです。そして、その後私にその聖書をくれたことが一番うれしかったです。

私はこの8日間を通して、いろんな人への感謝でいっぱいです。まずは6日間お世話になったホストファミリー。私がいろんなこと質問しても、何一つ暗い顔をせずに質問に答えてくれました。私はホストファミリーと別れる際「もう会うことができないんだ」と思うと、涙があふれてきました。ホストマザーは私を見てハグし、「グットガール！バイ。」といってくれました。私は本当にこのホストファミリーに当たって本当によかったなあと思いました。

次に、引率して下さった森元さん、梅谷さん、佐藤先生、国際交流センターの職員の皆さん。また、私とたくさん話して下さったニュージーランドの人々。そして何よりも派遣団のみんな。派遣団のみんなはとにかく面白くて、気を遣うことなく話すことのできる仲になりました。私はこの10人でニュージーランドに行くことができて本当によかったなと思います。

最後に、家族。ニュージーランドに行ってきた、親や兄弟の大切さを再確認することができました。一番自分を応援してくれていたのは、両親だということもニュージーランドに行ってみて気づきました。

私は派遣事業に携わって下さったすべての人に「ありがとう」と伝えたいです。



マオリの彫刻と



大好きな家族

最高の時間をありがとう

両荘中学校

諸富 理乃

私は、この海外派遣に選ばれたとき、家中にひびきわたるような大声で「ぎゃー——ー！」と叫んでいました。本当に嬉しさと楽しみで心がいっぱいでした。でも、事前研修のとき、去年行った先輩の話聞いて、私大丈夫かな？ちゃんとホストファミリーの人と仲良くなれるかな？と、不安になりました。でも、ニュージーランドの地に足を付けたときには感動と興奮で不安などは全部あとかたもなく吹き飛んでいました。

私が一番楽しかった！と心に残っているのは私にとって最高のホストファミリーと一緒に過ごした時間です。ホストファミリーと初めて対面するときは緊張でいっぱいでした。みんなもとても緊張していて、励ましあったことを覚えています。日本でALTのベネット先生といっぱい練習したやろ、と自分を応



みんな仲良くいってきまーす！

援していました。ついに対面するとき！ホストファザーのファガがハロー！と元気な声と大きな笑顔で挨拶してくれたことが今でも目に浮かんできます。楽しそうな人だな、と心がはずみました。その日は一緒に迎えに来てくれていたホストブラザーのジョシュアと一緒に歩いて家に行きました。5分か10分の短い時間だったけれど、とても楽しかったです。家に着くとホストマザー、シスター全員がそろっていて、ニュージーランドのことを聞いたり、日本のことを



最高の家族写真！

話したりしました。でも、そこで私は自分の聞き取りの力が全然ないことに気付いて焦り、悔しい思いをしました。学校でちゃんと勉強しているけど、やっぱりそれは日本人の英語で、本当の英語を生で聞くのとは全く違いました。でも、分からないまま適当に聞くのは

嫌だったから、もう一回言って、とお願いしたりして、何回も聞いて単語を拾っていったら何とか理解することができました。そのとき私はあきらめないことって本当に大事なことで感じました。あきらめないかぎり絶対うまくいく。本当にそうだと思います。聞き取れたときは一回一回自信がついていったような気がします。ホストデーには2つのビーチに行きました。とても暖かくて、裸足になって遊びました。ジョシュアが案内してくれて、ホストシスターのキアナと手をつないでたくさん歩きました。

すごくきれいで水平線を見ることができて、感動で胸がいっぱいになりました。

また、私はこの海外派遣で改めて親のありがたさを感じることができました。いつもなら親がいるから何か困ったことがあってもすぐ頼れるし、安心でした。でも、今回はその親がいなくて自分のことはすべて自分でやる。あたりまえのことだけど日本ではなかなか経験できないことだと思います。だから、自分自身少し強くなれたような気がします。

私は今回参加して本当によかったなと思います。なによりも最高のホストファミリーに出会えました。お別れのときは涙でうまく喋れませんでした。でも、パパがハグとほっぺたにキスしてくれて、こんな暖かい家族に出会えて私は本当に幸せ者だなと思いました。

私が今回強く感じたことは人の温かさとフレンドリーさです。ニュージーランドの人はみんな、目があったら、ハイ！と挨拶をしてくれます。初めはびっくりしたけど、私もハイ！と返せてよかったです。髪の毛や肌の色にとらわれずみんな仲が良くて、話すとき明るい顔をしていたのが印象的で、すごく素敵だなと思いました。

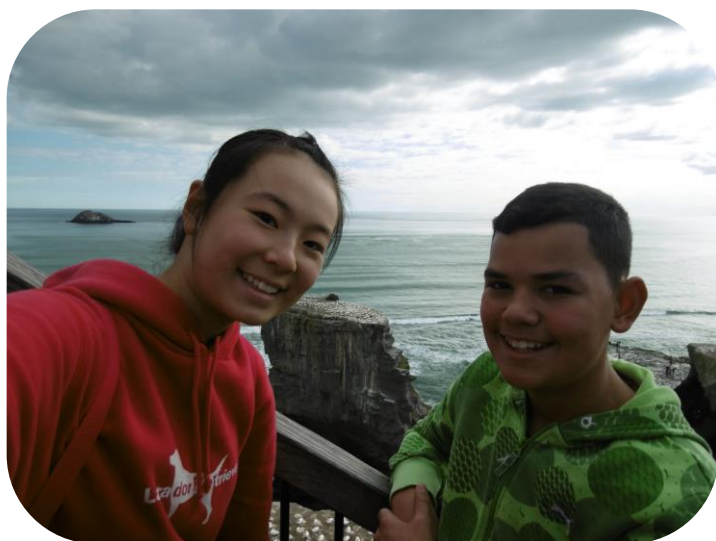
学校訪問した時も、バディーのローレンは変に気を使ってくれるのではなくて、本当の友



レッツ トランポリン！

達として仲良くしてくれました。周りの人ともランチのときたくさん話せてよかったです。

こんな素敵な経験をすることができたのは、両親や、応援してくれた友達、先生、森元さん、梅谷さん、佐藤先生、関係者の皆様、そして大好きな9人のメンバーのおかげです。私は大きく成長できたこの経験を絶対に忘れません。本当にありがとうございました。



海めっちゃきれいかった！！

異国の歴史と文化に感動、心温まる優しさに感謝

浜の宮中学校教諭

佐藤 祐介

第26回目の加古川市中学生海外派遣団に引率教師として同行させていただきました。生徒たちは、事前研修からそれぞれの個性を発揮し、また相手を尊重しながらしっかりとまとまっていました。

ニュージーランドに到着すると、早速先住民族マオリについての学習で幕を開けました。1840年に結ばれたワイタング条約。戦争が残した爪痕がここにもあったのだと、その歴史に耳を傾け学習をしていました。

お世話になったラザフォードカレッジでは、マオリの儀式により厳粛な雰囲気でもて迎えていただき、ホンギを交わしました。私たちのために真剣に行ってくださった儀式に一同感謝無量でした。私自身、ラグビーの試合開始前に行われるハカダンスを映像では見たことがありましたが、マオリの儀式を目の当たりにし、胸に熱くこみ上げるものがありました。以後、街中に英語とマオリ語が併記されていることに気づかされました。Kia Ora（キアオラ）=Hello は私たちにも馴染みのある挨拶となりました。

学校での授業体験は、バディとペアになり、参加させていただきました。遺伝子に関する授業、経済学、技術や美術など参加させていただいた時間はわずかでしたが、貴重な体験でした。体育の授業ではラグビー場が2面分ある全面芝生の広大なグラウンドを走っていました。日本語の授業を見学させていただいた際、日本語を指導されていた先生は、か



訪問先のラザフォード・カレッジにて披露していただいたハカ



ラザフォード・カレッジにある広大なグラウンド

つて学生として派遣生で加古川市にやってきた男性でした。この事業によって、それぞれの国で国際交流が脈々と受け継がれていると感じた素晴らしいひとときでした。

ラザフォードの生徒たちはためらうことなく、何もわからない私たちを優しく受け入れてくれ心温まりました。また、先生方も大変気さくでまるで初対面とは思えないほど親密に学校の様々なことを紹介してくださいました。

オークランドは、南半球一高いスカイタワーを筆頭にビルが建ち並ぶ都会でありながら、周辺には雄大な大自然に囲まれた素晴らしい都市です。ワイタケレ森林公園では、「森の神」と呼ばれるカウリの木に感激し、その偉大さに敬服しました。ふと「日本の屋久杉みたい」と日本の素晴らしさにも目が向けられるようになっていました。

毎日、派遣団の生徒たちが集まるとホストファミリーの話題でもちきりでした。温かく受け入れられ、そして自分たちも心を許せる存在として素晴らしい体験をしているようでした。ホームステイ最終日、別れの際、別れを惜しみ涙する生徒、交流を続けるために連絡先を交換する生徒など様々でしたが、全員がお世話になった感謝の気持ちを心をこめて伝えました。

『百聞は一見に如かず』とはよく言ったもので、中には1日分の思い出を数ページに渡って記録している生徒もいます。また、海外で活躍していこうと心に決めた生徒もいます。



カウリの木



スカイタワーからの景色

これほどの体験は日本ではなかなかできないものだと生徒たちの様子を見ながら実感させられました。

ニュージーランドは、他文化共生でお互いの文化を尊重し合う国家です。また郊外に広がる雄大な大自然とも共存している国家でもあります。そこで、優しく接してくださる方や素晴らしい自然と出会い、心温まる時間を過ごすことができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。また、ニュージーランドのみならず、10名の生徒たちとの出会い、同行してくださった森元さん、

梅谷さんとの出会い、加古川市役所や国際交流協会をはじめこの事業に携わってくださった方々すべてに感謝です。今後もこの事業が継続していくことを切に願っております。

思い出のページ



訪問先のラザフォード・カレッジにて！



ラザフォード・カレッジにて



タウンホールの近くでポーズ！？



モーニングティー



ゲームをしています



行ってきます！



オークランド博物館にて



オークランド市長への親書を渡しました



お世話になったガイドのよりこさんと



公益財団法人 加古川市国際交流協会

〒675-0017 兵庫県加古川市野口町良野 3 8 7 - 1

TEL : 079-425-1166

FAX : 079-425-0200
